

## 令和元年度ADフォーラム

# (一社)日本レストルーム工業会 UD部会 活動報告

2019.10.28

(一社)日本レストルーム工業会  
ユニバーサルデザイン部会

部会長 長谷 寛(TOTO(株))

## 1. 日本レストルーム工業会組織概要①

(一社)日本レストルーム工業会は、2015(平成27)年4月より、  
(一社)日本衛生設備機器工業会と(一社)温水洗浄便座工業会が合併し、トイレ・洗面室  
等、水まわりにかかわる設備機器を対象とした事業を実施する組織に再編し新たにスタートしました。

### ■ 設立経緯

**1948年(昭23) 11月 「日本衛生陶器工業協会」として設立**

1964年(昭39) 7月 「日本衛生陶器工業組合」に改組  
1985年(昭60) 6月 「日本衛生設備機器工業会」に改組  
2012年(平24) 4月 「一般社団法人 日本衛生設備機器工業会」

**2015年(平27) 4月 「一般社団法人 日本レストルーム工業会」発足**

### ■ 目的

**衛生設備器機(衛生器具、温水洗浄便座、暖房便座、衛生器具付属金具等)産業の振興に 関する共通的な施策を推進することにより、その健全な発展を図るとともに、国民の住生活の向上と、わが国 経済の伸長に寄与する**ことを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。

### ■ 事業

- (1) 衛生設備機器の生産、流通、消費及び貿易の振興に関する対策の確立及びその推進
- (2) 衛生設備機器の普及及び各種啓発に関する諸対策の推進
- (3) 衛生設備機器に関する各種規格、基準等の策定及び関連事業の推進
- (4) 衛生設備機器の維持管理に関する調査・研究及び関連事業の推進
- (5) 衛生設備機器の環境に関する調査・研究及び関連事業の推進
- (6) 衛生設備機器の製品安全に関する調査・研究及び関連事業の推進
- (7) 衛生設備機器に関する関係官庁、関係機関等に対する意見具申及び答申
- (8) 前各号に掲げるもののほか、当法人の目的を達成するために必要な事業

# 1. 日本レストルーム工業会組織概要②

## ■ 会員(8社)

- ・アイシン精機株式会社
- ・アサヒ衛陶株式会社
- ・SANEI株式会社
- ・ジャニス工業株式会社
- ・東芝ホームテクノ株式会社
- ・TOTO株式会社
- ・パナソニック株式会社
- ・株式会社LIXIL

■ 日本レストルーム工業会会長：喜多村 円 (TOTO(株) 社長)

## ■ 理念・ビジョン

業界が持続的に成長し高品質で安全安心な製品を提供し続けることによってお客様とのさらなる**良好な関係を築**いてまいります。

### 理念

レストルーム**業界の持続的な発展**を通じて、**世界中の人たちの生活文化向上**に貢献します。

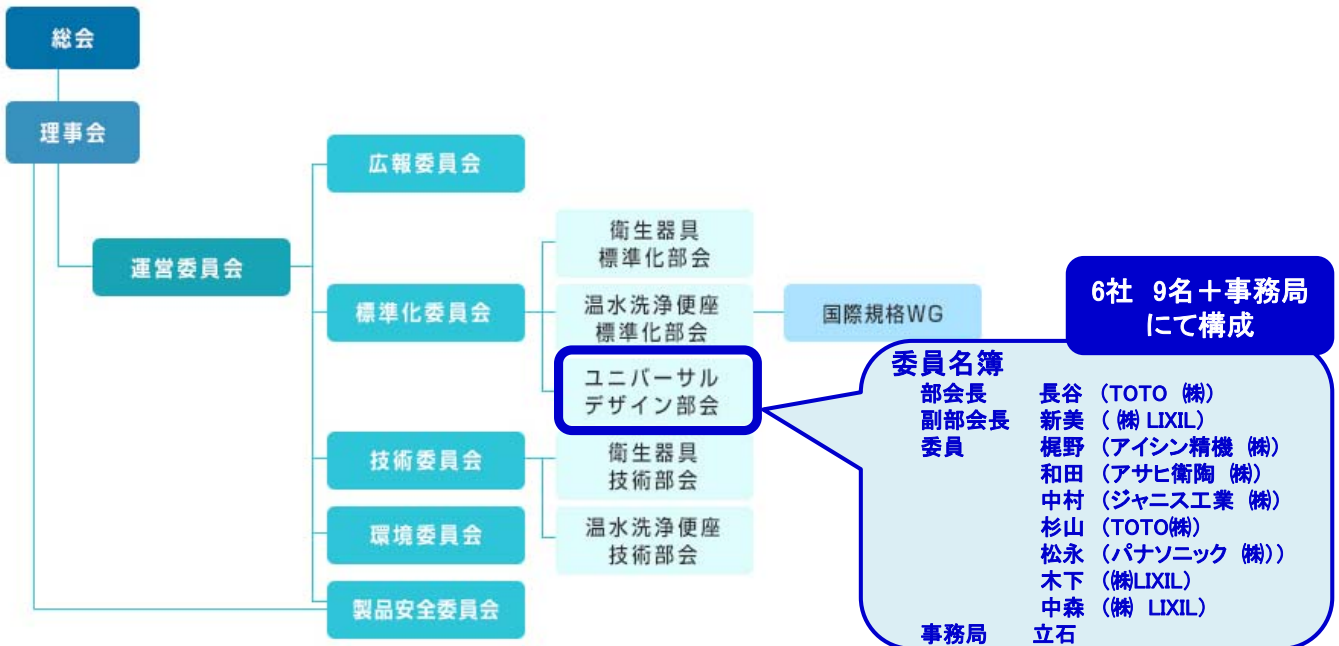
### ビジョン

**世界中の人たちに**、安全で使いやすく環境にやさしい**快適なレストルーム空間を提供**します。そのために、

1. **<安全・安心>** 製品の安全性をさらに向上させ、適切な使用方法を広めます。
2. **<環境貢献>** 地球温暖化をはじめとする環境問題解決のため、地球にやさしいモノづくりを目指します。
3. **<国際貢献>** 製品の国際標準化を進め、海外でのさらなる普及を図ります。

# 1. 日本レストルーム工業会組織概要③

## ■ 組織概要・組織図 令和元年度委員会



標準化委員会	衛生器具標準化部会	衛生器具（大便器等）に関わる国内および国際標準化を推進する。
	温水洗浄便座標準化部会	温水洗浄便座等に関わる国内および国際標準化を推進する。
	ユニバーサルデザイン部会	ユニバーサルデザインに関する国内外の標準化を推進すると共に、諸課題解決を推進する。

### 超高齢社会への対応等、UD(ユニバーサルデザイン)に係る事業の推進

#### (1)UDに係る標準化への取組み

- ①ISO/TC159国内検討委員会への委員参加
- ②JIS S 0024「高齢者・障害者配慮設計指針—住宅設備機器」改正に向けた委員会、分科会への参加  
事務局：日本建材・住宅設備産業協会
- ③「車椅子使用者便房における適切な便座さの検証」結果の論文寄稿(日本建築学会 技術報告集(査読付き))
- ④公共トイレに関する良かったこと調査委員会に参加  
事務局：共用品推進機構

#### (2)住宅・パブリックのトイレ空間のUD化に関する提案

- ①住宅・パブリックトイレに関するUD視点での新しい価値につき、ホームページを活用した情報発信。

### 超高齢社会への対応等、UD(ユニバーサルデザイン)に係る事業の推進

#### (1)UDに係る標準化への取組み

##### ①ISO/TC159国内検討委員会への委員参加

- 委員長：日本大学 青木和夫教授
- 委員：全日本難聴者・中途失聴者団体連合会、全日本ろうあ連名、家電製品協会、テクノエイド協会、ビジネス機械・情報システム産業協会、情報通信ネットワーク産業協会、日本盲人会連合、電子情報技術産業協会、帝京大学、日本電機工業会、日本レストルーム工業会、国際視覚障害者援護協会、日本ガス石油機器工業会、日本点字図書館
- 関係者：経産省、日本規格協会、産業技術総合研究所
- 事務局：共用品推進機構
- TC159における国際標準化
  - ⇒基本色領域に基づく色の組み合わせ方法
  - ⇒最小可読文字サイズ
  - ⇒消費生活商品の報知光 ・音声案内 ・操作性 ・入力操作部
  - ⇒視覚ディスプレイ上のデジタル情報のアクセシビリティ

## 超高齢社会への対応等、UD(ユニバーサルデザイン)に係る事業の推進

### (1) UDに係る標準化への取組み

#### ② JIS S 0024「高齢者・障害者配慮設計指針—住宅設備機器」 改正に向けた委員会、分科会への参加

■「ISO/IECガイド71(高齢者及び障害のある人々のニーズに対応した規格作成配慮指針)」の2014年改正に伴い、これと整合した国内規格のJIS Z 8071も2017年に改正され、対象者が「高齢者及び障害のある人々」から「日常生活に何らかの不便さを感じているより多くの人々」に拡大された。上位指針であるJIS Z 8071が改正されたことに伴い、JIS S 0024も改正が必要となったテーマ。

■委員長：岡山理科大学 後藤義明教授

■委員：共用品推進機構、経産省生活製品課、国交省住宅生産課、日本規格協会、住宅生産団体連合会、都市再生機構、日本身体障害者団体連合会、(株)高齢者、キッチンバス工業会、日本レストルーム工業会、日本サッシ協会、(株)LIXIL

■事務局：日本建材・住宅設備産業協会

■実施計画：

- ・令和元年度末 …… 対象範囲、当事者ニーズ、生産者ニーズの整理、報告書まとめ
- ・令和2年度末 …… JIS原案たたき作成、
- ・令和3年度末 …… JIS原案作成・JISCへの申請

## 超高齢社会への対応等、UD(ユニバーサルデザイン)に係る事業の推進

### (1) UDに係る標準化への取組み

#### ③「車椅子使用者便房における適切な便座さの検証」結果の論文寄稿 (日本建築学会 技術報告集(査読付き))

国土交通省HP 建築物におけるバリアフリーについて 2017年3月

② トイレのバリアフリー化の促進

○ 多くの国内外からの来訪者を受け入れるにあたって、高齢者、障害者等が円滑に利用できるトイレの整備が求められる。このため、トイレの機能改修を促進し、より多くの施設におけるトイレのバリアフリー化を図る。

個別機能の分散配置を促進

○ 多機能トイレへの利用者の集中を避けるため、個別機能の分散配置を促進

**多機能トイレ**

必要な設備等

- 車いす使用者 …… 回転スペース、大型ベッド等
- オストメイト …… 汚物流し等
- 乳幼児連れ …… 乳幼児用いす、おむつ交換台等

施設の用途や利用状況を勘案し、障害者等に必要各設備を個別機能トイレへ分散設計上の工夫により対応

車いす使用者用トイレ + オストメイト用設備を有するトイレ + 乳幼児連れに配慮した設備を有するトイレ

○ 小規模施設や、面積・構造の制約が多い改修の場合には、利用者ニーズ等を考慮した上で、「多機能トイレ」と「簡易型機能トイレ」の組み合わせにより、可能な限り機能分散を図る

既存トイレ改修前

- > 出入口の幅がでない
- > 便房内のスペースが狭いため、車いすでの移動が困難

改修後

- > 出入口幅、回転半径により、車いすでの移動が容易になる
- > 便房内において、車いす利用者が使いやすいように設計

高座面便器座面高さ : 455mm  
一般便器座面高さ : 420mm

高座面便器座面高さ : 455mm  
一般便器座面高さ : 420mm

■17年7月、国交省宮籍部様より、「車いすトイレ」での適切な大便器高さ（高座面便器および一般便器の使用対象者・用途の整理）を求められる。

■17年3月「建築設計標準」改正にて機能分散が強化された結果「多機能トイレ」から「車いすトイレ」となり、使用者も変化する事になる。

■これに対し「国交省 宮籍部 設備・環境課」にて、「建築設備計画基準・設計基準(茶本)」改訂の際、「車いすトイレ」に設置する便器高さに対し、レストルーム工業会に見解を求められた。

■しかしながら、客観的に判断するだけのデータが各社になく、明確な回答を出すことができなかった。

⇒ 結果、17年度の「建築設備計画基準・設計基準」改正ではこれまで通りに、「車いす利用者の車いすから便器への移乗方法を考慮し、高座面大便器及び背もたれの設置を検討する」との記載にて進める事となった。

国交省より

今後の官公庁物件の指定に関わるため、次回見直し時(20年度)までには根拠に裏付けられた明確な見解の提示を求められた。また、合わせて衛生器具のJIS(19年度改正予定)にも掲載するよう助言いただいた。

業界としての見解をまとめる必要がある

	N数	男/女		年齢				移乗動作			疾病				身長			検証順序	
		男性	女性	～39	40代	50代	60～	立位	座位	介助	脳性マヒ	脊損系	骨形成不	その他	～155	55～170	170～	高⇒標	標⇒高
TOTO	15	12	3	3	2	3	6	9	5	1	2	6	1	6	3	6	5	0	15
LIXIL	15	7	8	3	3	5	4	4	10	1	4	6	0	5	7	7	1	7	7
工業会	27	9	18	10	9	5	3	10	11	6	10	10	2	5	17	6	4	19	8
計	57	57		56				57			57				56			56	

【総計①：移乗方法別のクロス確認】

移乗	男女	人数	順序	移乗	年齢	人数	移乗	身長	人数	移乗	疾病	人数			
立位	男	8	標⇒高	立位	40未満	9	立位	155未満	14	立位	脳性マヒ	7			
	女	14	高⇒標		40代	4		155～16	5		脊損系	7			
座位	男	16	標⇒高	座位	50代	5	座位	170～	4	座位	骨形成不	2			
			高⇒標		60以上	3		その他	7						
			高⇒高		40未満	4		脳性マヒ	4						
介助	女	10	標⇒高	介助	40代	8	介助	155未満	7	介助	脊損系	14			
			高⇒標		50代	8		155～16	14		骨形成不	1			
			高⇒高		60以上	8		170～	5		その他	7			
計	男	1	高⇒標	計	40未満	3	計	155未満	6	計	脳性マヒ	6			
			高⇒高		40代	3		155～16	0		脊損系	1			
												計		56	



18年レストルーム工業会にて50名以上の車いす使用者検証実施

### 3. 今後の活動計画

#### 高齢化・国際化に伴うUDに係る事業の推進

##### ●業界横串のアクセシブルデザイン標準化推進活動

UDにかかわる国内・国際規格(JIS・ISO)について、原案作成検討委員会等へ協力し、工業会内、参画企業内に情報を展開し、意見の集約を行い、必要に応じ検討委員会等への提言。

##### ●法令改訂・ガイドライン改訂への提言活動

UDにかかわる国内法令等の改訂に対し情報収集を行い、レストルーム空間UD視点で工業会内、参画企業内に情報を展開し、意見の集約を行い、必要に応じ検討委員会等への提言。



## 高齢化・国際化に伴うUDに係る事業の推進

### ●住宅・パブリックトイレ空間の UD化に関する課題検討と提案活動

- ①住宅トイレに関するUD視点での新しい価値の検討
  - ・UD視点での新しい価値につき、ホームページを活用した情報発信等の検討を行う。
- ②公共トイレの使い方啓発活動
  - ・公共トイレにおいての多様な利用者の円滑な利用に配慮したユニバーサルなトイレ整備について検討し、UD市場の認知拡大をめざす。



<https://www.sanitary-net.com/>

# 以上